



miyuki letter

みゆきレター

Fukuyama
Heisei
University

平成21年度 厳しさを増す 就職環境と活動状況



2008年9月のリーマンショック以来、景気は予想を上回る速度で急激に下降し、この社会動向は企業の採用活動はもとより学生の就職活動にも多大な影響を与えております。一方、最近のマスコミにより「景気回復に危うさ」がはらむものの足元の景気は持ち直しているとのニュースが報道されつつありますが、業績の好転が必ずしも新卒採用に結びついていない構図となっております。団塊世代の退職を補うため、製造業などが大量採用してきた反動もあり、スリムな経営体質を掲げる企業の採用の厳選志向は今後も続くものと考えられます。

るには、まず「就職課が主催する各ガイダンスに必ず出席し、就職活動の全体イメージを掴むこと」並びに「就職情報会社等が主催する合同企業説明会にも積極的に参加し、就職活動の情報収集に努めること」が絶対必要です。つまり、大学3年生の時の頑張りが就職活動の明暗を分けるといっても過言ではありません。色んな情報を「広く」入手するとともに「早めの対策」を行うことによって、就職戦線を勝ち抜いていく欲しいと思います。

本学では、こういった未定者の学生に対し就職意欲の高揚（意欲付け）と、更には就職課とゼミ（卒論担当教員とが連絡を密にして、就職委員会や就職課が中心となり個別指導や応募可能先の紹介並びに受験に当たっての注意事項等を指導するとともに、希望する企業に就職が出来るよう、引き続き最大限の支援を行っていく方針です。

平成22年度へ向けての 就職活動の取組み

1. 明るく大きな声、キビキビした態度、素早い反応と行動を心掛けよう！

採用者サイドでは、来年度も学生の質にこだわった採用を実施するのは間違いありません。どの企業もこの不況でさらに激しい生存競争を展開しなければならず、将来幹部社員に育ってくれる学生だけを採用しようとしており、会社で貢献してくれる人物、意欲的に働いてくれる学

生を探しています。明るく大きな声、キビキビした態度、素早い反応と行動に心掛けて、就職活動を元氣よく行ってほしいのです。

2. 早めの準備（会社訪問と情報収集）が就職戦線を生き残るカギだ！

企業セミナーや会社説明会は2〜3月がピークと思われる、絶対乗り遅れないように注意が必要で、早くから準備したいものです。また、2〜3月は応募できる企業数、採用人数が最も多く、一番内定が取りやすい時期でもあります。早く就職活動を開始すればそれだけメリットがあるのです。

3. 絶対内定を勝ち取るという気力と精神力が必要！

一番最初に応募した企業から内定が得られることは、極めてまれなケースです。最低4〜5社不は合格となり、不合格になった経験とその原因を調べて次の対策を練ることが内定に結び付けるコツです。二度と同じ企業に応募できませんので、いきなり第一志望の企業に当たるのは危険です。チャンスは一度しかありません！「絶対にこの会社から内定をもらわなくては！」という強い気力と精神力が必要です。



保証人の方々へのお願い

1. 学力よりも人物が重視される

採用者サイドからすれば、面接試験では自社の「発展に貢献してくれそうか」、「利益をもたらしてくれそうか」という人物面を中心とした仕事への取り組み意欲に重点が置かれて判定されます。筆記試験が一番であつても人物面で問題があれば不合格となります。つまり、人物評価の方が学力よりも優先されるのです。ただし、基礎学力と基礎知識は絶対必要で、これが不足していると筆記試験自体合格しません。日頃から新聞を読むなどして国語・算数・時事等について、訓練させておく必要があります。

2. 良い第一印象を！

《ハツと見た第一印象が最も大事》

最近の学生は暗い「挨拶をしない」話ができない」と、企業の採用担当者から時々苦情めいたものを聞きます。明るく、ハキハキものを言うことが出来るか、自分のことは自分で決めて実行することが出来るか、キビキビした行動が出来ているか、前向きな発言をしているか、自己中心的な考え方をしているか、組織の中でうまくやっていけるか、等人物面からのチェックで就職の支援をお願い致します。

就職課



休憩をはさんでリレートーク2では、本学の卒業生が5名登壇し、藤井悟教授の司会でトークが進められました。市内の地域包括支援センターで社会福祉士として活躍している人、徳島県の精神科の病院で働く精神保健福祉士（PSW）、市内の障害者施設の施設長など、生き生きと仕事や学生時代の思い出を語る先輩たちに、後輩たちは羨望の眼差しでした。参加者からは、福祉や介護の仕事が魅力的であることも、実際の様子もよくわかったと好評でした。その他に、1階では福祉機器展、9階では奨学金相談コーナーなども設置されました。

福祉学科トピックス

『介護・福祉』の魅力と将来を語り合おう
福祉学科 講師 中司 登志美

近年、社会福祉・介護福祉分野の人材不足がいわれています。そこで今年度から福祉学科では、高校生や市民、本学の学生を対象にした人材養成講座を始めることにしました。

第1回目の講座は、8月1日（土）に、宮地茂記念館9階の大ホールで行いました。参加者は約90名でした。

田口学長の開会挨拶の後、まずリレートーク1があり、介護職員からキャリアアップした二人の講師による講演からスタートしました。社会福祉法人不動会第二相扶園園長の荒木和美さんは、自らの学生時代の実習体験を赤裸々に語って下さいました。濡れたオシメに触るのが苦手だった学生時代に、それを責めずに受け止めてくれた当時の指導者との出会いがなければ、今介護や福祉の仕事自分をしていることはないだろうと話され、実際に働くよりも実習の方が大変なのだから、実習が上手い

かなかったからと介護や福祉の道を諦めることがないようにと話されました。そして最後に、介護職の地位を向上させることも重要であるが、介護家族による認知症高齢者の殺人事件を目の当たりにすると、介護家族を支えるシステムがまだ十分でない日本の介護問題を何とかすることがまず重要であると結ばれました。

特定非営利活動法人地域の絆代表理事の中島康晴さんは、大学で社会福祉を学んだ後に福祉の現場でいろいろ仕事をしたが、自分のやりたいことをするために自分で事業所をつくるしかないと考えた経緯を語られました。現在、福山市や三原市で、小規模多機能型居宅介護事業所を3か所展開している実践や思いを伝えて下さいました。

休憩をはさんでリレートーク2では、本学の卒業生が5名登壇し、

経営学部トピックス

学科の授業で「インターンシップ」を体験して
経営情報学科 3年 池田 沙織

私は、今年8月、学科の授業で「インターンシップ」を体験しました。私が「インターンシップ」を体験できる「企業実習」を履修したのは、大学も三年目に入り、就職活動を実践的に開始しなければいけない学年になったことと、大不況と言われる現在の社会の現状を身を持って体験することにより気を引き締め、今後の就職活動にいかしていけたらと思ったからです。実習先にはしなみ信用金庫を希望しました。それは、前々から金融関係に興味があったことと、人々の生活にとって重要な金銭面でのサポートをし、なおかつ、地域密着型で地域にも貢献されているところに興味を持ったのが大きな理由です。

インターンシップを終えて、最初私は、信用金庫は硬く、みんな自分の仕事だけを黙々とやっていた方がいいのではといった、浅はかなイメージしか持っていませんでした。それが、見事に打ち砕かれました。本部の方は、常に緊張感を持ちシビアな考え方で、活力ある仕事をされています。また支店では、本部とは違う雰囲気、地域に密着した仕事をされていることを肌で感じる事ができました。渉外業務で取引先に一緒につれて行っていたのですが、「お金をモノ（商品）と思う。もしそう思えなくなってしまう時がきたら、この仕事は辞めた方がいい。」そうおっしゃっていた渉外係の方の姿はプロであり、とても格好良く思えました。人と人とのふれあいを通じたコミュニケーション能力、判断力、そして幅広い知識など、すべてを取り入れた渉外業務は特に心に強く響きました。

短い期間でしたが、しなみ信用金庫でのインターンシップでは、社会人としてのあるべき姿や心構えを学べ、この先私の財産になると思います。大学の講義だけでは、分かっていないことがたくさん学べ、とても実りのあるインターンシップでした。私はこのインターンシップに参加できて本当によかったと思っています。

池田...右から3人目



こども学科トピックス

学生ボランティア活動の報告
こども学科 教授 永井 純子

9月に入ってまもなくのある日、福山市立駅家東小学校の校長先生からこども学科長宛に学生ボランティアの話が飛び込んできました。学科会議でこの議題が取り上げられたが、多くの学生は保育実習中であること、急な話で調整がつかないことなどの理由から、断わらざるを得ないという雲行きになった。しかし、何とかならないものかと一部の学生に連絡してみると気持ちの良い返事が帰ってきた。早速、9月の9・10・11日と16・17・18日の都合のつく日2班に分かれて、始業前（朝7時45分から）と1限と2限の休憩時間に子どもと一緒に運動あそびをするボランティア活動が始まった。夏休みに生活リズムを崩した子ども達に少しでも早く規則正しい生活リズムを取り戻し、からだや脳を活性化させ、学習への集中力を高めたいということが主なねらいであったが、毎回、校長先生が学生たちに持たせてくださった写真には日々笑顔と自信を深めていく学生たちの様子が手に取るよう伝わってきた。今回このような縁をいただいた藤井校長先生に深く感謝するとともに、立派な役目を果たした学生たちの活動を嬉しく誇らしく思う。



もに、立派な役目を果たした学生たちの活動を嬉しく誇らしく思う。

フィジカルアセスメント

シミュレータ教材を使った学習が、看護基礎教育で広く定着してきました。本学においても、あらゆるシミュレータを準備し授業に取り入れていきます。その中でも、心臓や呼吸・腹部の音を聴くフィジカルアセスメントモデル通称「フィジコ」を使った看護実践トレーニングは好評です。フィジカルとは「身体的な」という意味で、アセスメントとは「情報の収集とその整理」と考えられます。

「フィジコ」は実際の場面を模倣的に再現し、その疑似体験からフィジカルアセスメント技術を向上させ、看護の臨床実践能力を高めるために作られたものです。様々な状況を設定できるので学内のみならず、近隣病院の看護師を対象とした研修会も地域交流事業の一環として開催しており、多くの参加者とともに毎回楽しく実施することができています。



学園祭レポート

経営学科 2年 舘尾洋子



(舘尾...写真中央)

去る10月31日と11月1日に福山平成大学で「御幸祭」が行われました。私たち経営学部では写真入りのストラップを作りました。前日からパソコンやプリンターなどを運んだり準備作業に追われました。当日は、親子連れの方、カップルの方やご夫婦の方など多くの方が訪れ、大盛況でした。写真撮るときに泣いてしまうお子さんなどもあり、先輩方が風船などで笑わしながら写真を撮りました。

ストラップですが、来ていただいた方を写真に撮り、その写真をパソコンでプリントアウトし、型でくり抜いてからストラップにはめ込むような形のものでした。一気に入にたくさんの方が来られると、どうしても作業に時間がかかってしまい待たせてしまうことになりましたが、事前に用意していたストラップが全部無くなってしまったほど大盛況でもっとも楽しかったです。

今年は、1日（10月31日）しか参加できなかったのですが、来年は「激辛王」を応援するために2日間とも参加したいと思っています。

みゆき祭学科発表について

こども学科 2年 谷川明成



動あそびのみでしたが、今回は、授業で学んだことをより実践で試すために新しく二つを増やしました。初めての試みだったため、当日まで不安がたくさんありました。

しかし当日は先生や先輩の助けもあり、多くの園児が笑顔を見せられました。最初はみんな緊張のために言葉掛けが少なかったり、表情が硬かったりしましたが、時間が経つにつれて緊張も少なくなってきました。それとともに園児の楽しそうな様子も増えてきたように思います。共に活動を行い、一緒に楽しむことが大切だと分りました。



今回の御幸祭では、こども学科の学科発表で近隣の保育園児を学校に招き、運動あそび、マープリング、ペープサートをしました。昨年は運動あそびのみでしたが、今回は、授業で学んだことをより実践で試すために新しく二つを増やしました。初めての試みだったため、当日まで不安がたくさんありました。

しかし当日は先生や先輩の助けもあり、多くの園児が笑顔を見せられました。最初はみんな緊張のために言葉掛けが少なかったり、表情が硬かったりしましたが、時間が経つにつれて緊張も少なくなってきました。それとともに園児の楽しそうな様子も増えてきたように思います。共に活動を行い、一緒に楽しむことが大切だと分りました。

PG開催において思うこと

健康スポーツ科学科 准教授 木島章文



開催前日より備後・岡山在住のレスラーが本学爽風会館に宿泊し、当日8:00AMより始まるリング設置に備えておられた。付記するが彼らはこれを生業としない社会人であり、彼らいわくの「楽しみ」で集っている。

試合は民主×自民のメタファーである若手革新×古参保守の対立構造化に沿って進められた。こういった2項対立はわかりやすい。現に集まった小中学校生は善玉保守にエールを送り悪玉革新に罵声を浴びせる。著者（38歳）が伝説のTV番組「8時だよ全員集合」を見て覚えた、そして当時金曜夜に放映されていた「ワールドプロレスリング」を見て覚えた、いわゆる間主観性あるいは身体性のあらわれさながらに、「志村、後ろ後ろ！」といわんばかりに、それを素直にさらけ出す小中学校生は心強い。そして思った。我々は考えねばならない。我々が失ったものこれから失わざるを得ないものがあることに、そしてそれが間違いなく思いやりの一側面であることに。思いは身体から始まるというなら聞きたい。来年、その復興・復権に「共振する」健康スポーツ科、および「人間力」総本山の本学が見せる立場を、決して彼らだけではなくその問題にどういった誠意を見せるのか見識が問われるのだ。

夕食の場、OPGは決して深酔いしない明日に仕事があるからだ。うち1名は明日、本拠地神奈川で過去5年にわたる国家的事業のメがある。疲れ切った彼はこう言う。「子供が喜んでくれるのが嬉しい。我々が子供の時に体で感じていたことを、彼らが感じてくれていてはいいから」と。共振するはずの健康スポーツ科学科は、それを抱える人間力総本山であるはずの福山平成大学は、その言葉に何を思うのか。結果が発展でも破壊でも、分岐がすぐそこにある現在に見識が問われると感じた。



第16回 福山平成大学 御幸祭



御幸の看護の“たまご”です

看護学科 教授 四宮 美佐恵

看護学科では、健康チェック、実習を着ての写真撮影と、看護学科の教員による『救急看護・腎臓の話』をテーマにミニ講義を行いました。多くの方々が熱心に聞いて下さっていました。その他に、今年初めて、模擬店を行い、コロッケなどとても好評で完売しました。また、昨年好評だったバザーもたくさんあった品物があつという間に売れてしまいました。そして、バザーと模擬店で2万5千円の収益があり、昨年と同様に山陽放送を通じて国際貢献団体の方へ寄付を致しました。ご協力頂きましたことに感謝申し上げます。

看護学科では3年生が臨地実習で参加できない為、2年生の「御幸祭実行委員」8名がリーダーシップをとって企画から準備そして、当日まで頑張ってくれ素晴らしい御幸祭となりました。



『御幸祭』バルーンアートの魅力

福祉学科 准教授 八田和子



福祉学科のバルーンアートは、毎年恒例となっています。カラフルなバルーンが次々とふくらみ、花や飛行機、動物たちへと変身していきましました。バルーンアートの魅力は、お客さんとのコミュニケーションを楽しみながらつくっていくこと。「うわー、きれい!」「ありがとう」と笑顔で受け取ってもらえるのが一番嬉しい瞬間です。

大学祭2日目は生憎の雨でしたが、屋内企画のバルーンアートは大盛況に。あつというまにバルーンがなくなり、学生スタッフは大忙しでした。バルーンアートのテクニックを身につけた学生たちは、ボランティアや実習などで福祉施設で披露し、大変喜ばれています。大学祭中にも、施設の方から「ぜひ、バルーンアートのボランティアにきてください」との依頼がありました。福祉学科が地域に根ざした活動を展開するツールとして役立っています。

この他にもパネル展示をおこない、福祉学科の授業や教員の紹介など、福祉学科の魅力をPRしました。





福祉健康学部 福祉学科(社会福祉学専攻)
今川 智英

就職内定先: 感謝グループ

私が、就職活動を考え始めたのは、大学の2月頃でした。最初は、まだ大丈夫という気持ちはありましたが、友達が合同企業説明会に参加するというので、軽い気持ちで参加しました。

参加してみると色んな大学の学生が各ブースで企業の話を実際に聞いていて、質問もどんどんしており圧倒されました。私は、話は聞いていましたが、聞くだけで質問をすることなくその合同企業説明会は終わってしまいました。

その後、このままでは就職できないと思い、真剣に就職活動を始めました。まず、取り組んだことは、自分の行きたい企業をリストアップして企業を調べることから始めました。そうしないと、説明会に行った時に質問することが困難であると感じたからです。その結果、説明会では質問すること

ができるようになり、良い印象を与えることができたのではないかと思います。

次に、就職活動をしていく中で特に注意してほしいことを述べてみます。自分がどのような仕事をしたいのか、自分を知ることから始めないといけないと思います。そうしないと、面接で自分の短所や長所を聞かれた時に、質問に答えることができないからです。だからこそ、大学内での就職ガイダンスには絶対に出席する方が良いと思います。講義中に見るビデオ等は就職活動でとても参考になります。また、わからないことや気になることがあれば就職ガイダンスだけでなく就職課に行く方が良いと思います。そして、友達と一緒に行動するのではなく、自分で行動することが大切であり、一人で就職活動をする事の大切さを実感しました。

以上で述べたことが、自分自身の就きたい仕事へと繋がっていくのではないかと考えます。



福祉健康学部 福祉学科(幼児保育学専攻)
井上 奈津季

就職内定先: 社会福祉法人 湯野福祉社会みどり保育園

私が就職について考え始めたのは、3年の終わりです。それまで私は保育園などに積極的にボランティアに行き、現場体験をしていました。保育園(所)・幼稚園・乳児院の現場体験ボランティア、自閉症の預かりボランティア、知的障害児通所施設のアルバイトです。現在でも知的障害児施設のアルバイトと就職先での子育て支援ボランティアを毎週させてもらっています。私はこういったボランティアやアルバイトをすることで、自分の成長に繋がっています。

実際に私は、大学2年から4年になる前まで、大学近辺の保育園の延長保育のボランティアを週に一回していました。4年になって辞めました。それは、他園がしている

様々な園を見てきた中で、私がこの園に決めた理由は、自分の保育観に共通するところがあつたからです。これは、現場体験をする中で感じたことです。

皆さんも、進路先で自分は出来るか出来ないかという不安になると思いますが、第一に自分は何がしたいのかよく考えてボランティアへ行ってみたらいいと思います。

保育をこの目で見たかったからです。また、5月に開催された保育園合同説明会で説明を聞いた園にボランティアへ行きまして。私自身この神辺に親近感を感じており、神辺付近の保育園と自宅近辺の保育園にも足を運びました。4年になって行った保育園は7園です。私はボランティアをする中で園の雰囲気を知ることが出来ました。園によって雰囲気も違いますが、地域によっても雰囲気が違うことを感じました。



経営学部 経営情報学科
奥野 悠一郎

就職内定先: 天野実業株式会社

私が就職活動を行ってきた中で、皆さんの就職活動の参考になればよいと思い、やっていた良かったことや気づいたことを2点、アドバイスさせて頂きます。

①面接官に気に入られる
合同企業セミナーや会社説明会の時などは一番前の席で話を聞き積極性をアピールする。これは普段から授業や就職ガイダンスでも一番前に座るよう習慣にしていかなければなりません。また、質問はどの企業でも使えるものでなく、しっかりと企業研究をしていく中で見つけ、他の学生に差をつけることで面接官の自分に対する印象が変わったと思います。実際に私はある会社の説明会に参加した際に、採用担当者から直接声を掛けられたことがあります。

②企業が求めている人材を把握する(最も重要！)
「企業がどういう人材を求めているか」「自分が持っている能力の中で何が活かせるか」「何が出来るか」「どういうことをしたいのか」を伝えることで面接官が興味を持つてくれるのだと気づき、就職活動の武器になりました。最後に、毎年何十人も見る面接官はマニュアル的な面接では心に響きません。自分なりの就職活動を早く見つけ、実践していくことで自分らしさを出した面接が出来るようになるのだと思います。



福祉健康学部 健康スポーツ科学科
深見 康弘

就職内定先: グンゼスポーツ株式会社

私の就職活動は、大学内の友達と比べると早かったのですが、他大学の学生に比べると出遅れていました。活動開始当初は他大学の学生との経験の差が凄くあると感じ、少ない期間で数多くの企業の選考にできるだけ参加しました。

面接を受けた際には上手く答える事が出来ないという事がよくありました。質問をメモし、他企業の選考で同じような質問が出た場合には答えられるようにし、回数を重ねるごとに不安は無くなっていました。自分の考える将来・理想の企業が、友達と同じという事はないので他の人に合わせず行動することが必要だと思います。内定をもらうためには採用担当の方に自分というものを印象付けることが大切です。その為には、人よりも質のある情報収集や人生で誇れるものを経験しておくこともアピールする際には必要だと感じました。就職活動の頑張りにより将来は変わります。自分が卒業する時に納得出来る結果にする為には、人よりも早く行動をし、多くの情報を得て、就職活動における経験値を増やしていくことが最も重要なことだと思います。

就職活動が上手いかわからない時期もあると思いますが、最後まで自分を信じ諦めず続けてください。

平成21年度サークル活動記録

2009/11/10
現在

バレーボール部 活躍し優勝

男子バレーボール部は第70回中国大学バレーボールリーグ戦秋季大会(10/7~11/1)において10戦全勝し、この大会25季ぶりに優勝した。今まであと一歩のところまで宿敵・東亜大学に敗れて準優勝に甘んじてきたが、この度は、リーグ戦全勝で優勝を果たした。また、第9回広島県大学バレーボール選手権大会(11/14・15)では、男子、女子ともアベック優勝を果たした。女子も今まで勝てなかった広島大学と決勝戦で対戦し2-0のスコアで勝利し、優勝した。



男子バレーボール部

| | |
|---|-------|
| 第21回全日本ビーチバレー大学男女選手権大会 8/7~8/9 ●須磨海水浴場特設コート | 敗退 |
| 平成21年度第70回中国大学バレーボールリーグ戦秋季大会 10/17~11/1 ●萩市体育館(山口) 他 | 優勝 |
| 平成21年度第9回広島県大学バレーボール選手権大会 11/14~11/15 ●広島経済大学 | 優勝 |
| 第62回秩父宮杯全日本バレーボール大学男子選手権大会 11/30~12/6 ●東京体育館他 | ベスト16 |

女子バレーボール部

| | |
|---|-------|
| 平成21年度第70回中国大学バレーボールリーグ戦秋季大会 10/17~11/1 ●萩市体育館(山口) 他 | 3位 |
| 平成21年度第9回広島県大学バレーボール選手権大会 11/14~11/15 ●広島経済大学 | 優勝 |
| 第62回秩父宮杯全日本バレーボール大学女子選手権大会 11/30~12/6 ●東京体育館他 | ベスト32 |

陸上競技部

| | |
|---|--|
| 秩父宮賜杯第62回西日本学生陸上競技対校選手権大会 7/10~7/12 ●香川県立丸亀陸上競技場 | 110mH 4位:川本 健司(健3) 槍投げ 5位:畠山 誠也(健4) |
| 天皇杯第78回日本学生陸上競技対校選手権大会 9/4~9/6 ●東京国立競技場 | 出場者 110mH 準決勝敗退:川本 健司(健3) 槍投げ 24名中18位:畠山 誠也(健4) 三段跳び 29名中24位:三宅 祐貴(健4) |
| 第32回中国四国学生陸上競技選手権大会 10/16~10/18 ●愛媛県総合運動公園陸上競技場 | 男子最優秀選手賞 川本 健司(健3) 優勝:110mH 川本 建司(健3) 4×400m 田和 伸裕(健2)・平山 雄造(院・健1) 白井 雅史(健3)・河部 佳則(健4) 第2位:400mH 河部 佳則(健4) 槍投げ 畠山 誠也(健4) 4×400m 稲角 舞(健2)・山本 真季(福2) 矢野里恵子(健1)・吉岡 史穂(健1) 第3位:400m 河部 佳則(健4) 400mH 平山 雄造(院・健1) 棒高跳び 塩出 浩二(健2) 女子ハンマー投げ 花村 咲(健1) 円盤投げ 井上 元気(健2) 400m 山本 真季(福2) 400mH 山本 真季(福2) |

男子バスケットボール部

| | |
|--|----|
| 2009年度全日本大学バスケットボール選手権大会中国地区予選会 10/15~10/18 ●東区スポーツセンター | 敗退 |
|--|----|

女子バスケットボール部

| | |
|--|-----|
| 2009年度広島県学生バスケットボール新人選手権大会 9/6 ●広島国際学院大学 | 準優勝 |
| 2009年中国学生バスケットボール選手権大会 兼 全日本学生バスケットボール選手権大会中国地区予選 10/15~10/18 ●東区スポーツセンター他 | 準優勝 |

剣道部

| | |
|----------------------------------|----------------------|
| 第56回中四国学生剣道優勝大会 8/30 ●桃太郎アリーナ | 敗退 |
| 第2回天野杯剣道選手権大会 11/3 ●ローズアリーナ | 個人戦 第2位 近江 綾華(健2) |
| 平成21年度広島県秋季学生剣道大会 11/20 ●広島大学 | 個人戦 優勝 大塚 将也(健2) |

ソフトテニス部

| | |
|---|---|
| 平成21年度秋季中国学生ソフトテニスリーグ戦大会(1部) 8/26~8/30 ●岡山県備前テニスセンター | ●団体 男子 優勝 女子 優勝 |
| 平成21年度広島県学生ソフトテニス秋季大学対抗戦 10/3~10/4 ●広島修道大学 | ●団体:男子Aチーム 3位 Bチーム 1回戦敗退 Cチーム ベスト8 ●団体:女子Aチーム 2位 Bチーム ベスト8 |
| 第58回中国・四国学生ソフトテニス選手権大会 11/4~11/7 ●山口県維新百年記念公園テニスコート | ●団体:男子Aチーム ベスト16 Bチーム ベスト16 Cチーム 2回戦敗退 ●団体:女子Aチーム ベスト8 Bチーム 2回戦敗退 |

硬式テニス部

| | |
|---|-----------------------|
| 平成21年度全日本大学対抗テニス王座中四国大会(4部) 8/8~8/16 ●山口維新テニスコート | 優勝 (3部との入替戦へ) |
| 平成21年度夏季中四国学生テニス選手権大会 9/2~9/16 ●松山大学 | 敗退 |
| 平成21年度全日本大学対抗テニス王座中四国大会(3部・4部入替戦) 11/7 ●福山平成大学 | 7-2 高知大学に勝利 (3部昇格) |

水泳部

| | |
|--|---|
| 第40回福山市水泳選手権大会 9/13 ●ローズアリーナ | 男子 優勝 50m背泳ぎ/100m背泳ぎ 竹内 伸成(健2) 女子 優勝 50m背泳ぎ/100m背泳ぎ 若本 亜友子(健2) |
| 2009年度川崎短水路水泳選手権大会(非公認) 9/19 ●川崎医療福祉大学(屋内温水プール) | 100m背泳ぎ 2位 深見 康弘(健2) 100m/150m フライ 3位 竹内 伸成(健2) |
| 第7回中国四国学生秋季水泳記録会 10/11 ●松山中央公園アクアバレットまつやま | 200m/150m フライ 2位 竹内 伸成(健2) 200m背泳ぎ 若本 亜友子(健2) |

軟式野球部

| | |
|---|---------------------------------|
| 平成21年度第4回中国地区軟式野球連盟新人戦 10/10 ●広島市立大学 | 優勝(広島側) |
| 第26回西日本大学軟式野球選手権大会 11/7~11/12 ●高砂市総合運動公園野球場他 | ベスト8 (2回戦 VS 同志社大学 延長11回 敗退) |

ボクシング部

| | |
|--|---------------------------|
| 第64回国民体育大会山口県選考会 7/12 ●佐波高校武道場(山口県) | フライ級 優勝 原 寿文(健1) |
| 第64回国民体育大会中国ブロック大会 8/21~8/23 ●島根県江津市体育館 | ボクシングライト級 準優勝 原 寿文(健1) |

カヌー部

| | |
|---|---|
| 平成21年度中国カヌースプリント選手権 7/17~7/19 ●江の川くにびき国体記念コース(島根県) | ●カナディアンシングル 優勝 林 祐希(健2) 準優勝 中田 貴(健2) ●カヤックシングル 3位 村田 芳幸(健1) |
| 第45回関西学生カヌー選手権大会 8/14~8/18 ●琵琶湖漕艇場(滋賀県) | 敗退 |
| 第45回全日本学生カヌー選手権大会 /29~9/2 ●木場潟カヌー競技場(石川県) | 敗退 |

吹奏楽部

| | |
|-----------------------------------|---|
| びんごビッグバンドまつり2009 6/21 ●リーデンローズ | ひろしまバスまつり in ふくやま 10/31 ●緑町公園 |
| 第16回御幸祭演奏会 11/1 ●福山平成大学 | ケアハウスハーモニー演奏会 11/3 ●ケアハウスハーモニー(福山市笠岡町) |

シグマソサエティ

| | |
|--|--|
| 第18回全国ボランティアフェスティバルえひめ 9/26 ●ひめぎんホール他 | |
| ふくやま こどもフェスティバル2009 11/3 ●まなびの館ローズコム(福山市) | |

アスレティック・トレーナー 研修を終えて

健康スポーツ科学科
3年 乾 なな

9月7日から13日までの1週間ほど、オーストラリア・アスレティック・トレーナー研修に参加しました。私は今回の研修は2回目で、昨年に引き続き参加させて頂きました。

この研修はSports Medicine Australia (SMA) オーストラリアスポーツ医学(会)が、福山平成大学健康スポーツ科学科の学生のために特別に用意したプログラムで、3年前から行われています。オーストラリアがスポーツ強国であることは世界的に有名で、オリンピックでのメダル獲得数を、その人口で割るとオーストラリアが世界トップに位置するとも言われています。そういったオーストラリアのスポーツを支えているのがSMAです。そのSMAが外国人に対して、スポーツ医学のプログラムを提供することは初めてで、オーストラリアのトップ選手たちとの交流や施設見学、これまでに見たことのないようなスポーツの現場、英語での講義など色々な経験がこの研修で出来ました。

研修では様々なプログラムが用意されています。私は今回が2回目ですが、毎回新しいプログラムが用意され新鮮さを感じることが出来ました。

研修の内容は、主にスポーツ医学が中心です。講義では、部位別のスポーツ傷



害やスポーツ現場でのリスクマネージメント、スポーツ傷害の評価方法などを学びました。実習では、スポーツ現場での応急処置や輸送方法、テーピング、マッサージなどを行いました。特にテーピングやマッサージでは、これまでに私たちが大学の授業で習ったことと共通する部分もありながら、更に日本とは違う面なども学ぶことも出来ました。普段、プロ選手などを相手にしているスポーツトレーナーの方から、現場での実技を教わったことは色々な意味で勉強になり、良い経験が出来ました。

施設見学では、Australian Institute of Sports (AIS) オーストラリアスポーツ科学センターを訪ねました。このAISは、オーストラリアのナショナルチームやオリンピック選手が合宿やトレーニングを行うナショナルトレーニングセンターとして位置づけられ、宿泊施設や研究所もあります。施設内は、セキュリティに守られていてカードキーが無いと練習場などの施設には入れないようになっています。こういった場所を見学でき、更にセキュリティレベルの高い研究室や実験室を見学することも出来ました。その他にはプロのラグビーチーム(キャンベラ・レイダース)の練習場やスポーツトレーナーを育成する専門学校、スポーツクリニック、キャンベラ・セントラル病院などにも見学に行きました。ラグビー場では練習前のテーピングの様子や、ウォーミングアップ、筋力トレーニングの様子などもプロ選手の雰囲気を感じ近に見学が出来ました。ラグビーは、ケガが多いスポーツなので、トレーナーやスポーツドクターが常に常同しており、そういった医療関係者からも色々なアドバイスを話を聞けました。また、そこにいらつしたスポーツドクターの方々が、特別に手術の見学もさせてくれました。

た。手術室の中まで入れて頂き、間近で手術が見られたことはとても勉強になりました。

更にオーストラリアで充実した内容として、研修期間中、宿泊はホームステイでした。出発前のガイダンスで石橋先生から、この研修の目的は「専門教育の中に、異文化体験と語学研修を取り入れるのでしっかりと学んで欲しい、専門教育だけでも語学研修だけでもない、そのため、ホームステイは1ファミリーに1人ずつにします」とおっしゃっていました。最初は、「一人で大丈夫か、英語は大丈夫か、食べ物は大丈夫か」など不安がいっぱいでしたが、終わってみるとホームステイをして本当に良かったと感じています。ホストファミリーは、キャンベラにあるラドフォード・カレッジに通う子ども達の家でした。この学校は幼稚園から高校まであり、キャンベラが首都ということもあり首相のお子さんや官僚の子なども通う有名私立学校です。とても好意的に対応して頂き、英語がうまく話せない私たちでも楽しく過ごすことが出来ました。短い期間でしたが、最終日には現地の人たちの温かい歓迎に感動で涙が止まりませんでした。

このような内容で1週間という短い期間ですが、研修が行われました。私は入学後にこういった研修があると聞き、ぜひ1回は行ってみたいと思い、1年間かけてお金を貯めました。そして、昨年参加させて頂き、帰国後にもう一度行きたいと思い今年も参加しました。こういった経験は、学生時代しか出来ないことですし、この研修は福山平成大学でしか出来ないことなので、こういった研修を企画してくれたSMAのトリッシュや健康スポーツ科学科の先生方を始め、関係者の皆さんにとっても感謝しています。ぜひ、来年も行きたいです。

小学校体育実技ボランティア派遣事業について

健康スポーツ科学科
准教授 山西 正記



近年、子どもの体力低下が叫ばれて久しい。広島県教育委員会は、児童・生徒の体力運動能力を著実に改善する実践事業として、県内における小学校の体育授業に教職課程にある大学生を派遣している。教員免許を持たない大学生という点もあり、小学校教諭に替わって授業をすることはできないが、授業支援という解釈のもと、大学生が体育授業に介入することが許された。実際に参加した学生達の活動は、子どもたちの真剣なまなざしを受けつつ、実技を示範すること、また実践段階に入ってきた子どもたちの挑戦を促進・補助してあげること等が主な業務となる。この事業に協力している大学は、県内に4校ある。いずれも初等教育課程や保健体育の教員養成課程を有する大学に限られる。もちろん本学の健康スポーツ科学科もその1つに数えられる。各大学に概ね5名程度の選拔上、平成20年度には10名が、そして今年度は6名が選拔された。現在、広島県東部を中心とする小学校に派遣され、活躍している。

不思議なことに、この事業に参加した学生は、皆が口をそろえて「楽しい」と感想を述べる。例えば、学生は、後転倒立がもう少しできそうなことにも、どのようなアドバイスや声かけをすればいいのかと悩むことが多いらしい。その現場で即断即決する能力が問われている。このとき学生たちは、過去に自分が工夫し実践してきた実践的体験や、大学の授業等で、先生が何気なく口にした事柄が走馬灯のように、しかも頭の中で高速で渦巻くそうである。ただ自分の指導助言によって、子どもたちが「できた」と達成感に満ちた笑顔が溢れるとき、何とも云えない感情がわき起こるらしく、忘れられないという。学生たちはボランティアといえども緊張感と責任感を持って、これまで習得した知識や実践を総動員して指導するという教育現場の醍醐味・魅力を全身で感じている様子であった。未熟ながらもです。中には、この事業のかかわりから、小学校課程の教員免許取得に挑戦するため大学院に進学することを決めた学生や、大学を卒業後、派遣された小学校に再び臨時の教員としてお世話になる学生も現れた。この小学校体育実技ボランティア派遣事業は今年で3年目の節目を向かえた。派遣期間や大学生が介入できる水準について再考を行い、より充実した事業へと発展することを切望している。

平成22年度 入学試験概要

一般選抜入試

| 試験種別 | 試験日 | 試験会場 | 出願期間 | 合格発表 |
|--------------|-------------------------------------|----------|------------------------|----------|
| 前期入試 A 日程 | 1月31日(日)・2月1日(月) 2月2日(火)・2月3日(水) | 本学・他21会場 | 1月5日(火)～1月27日(水) 消印有効 | 2月8日(月) |
| 前期入試 B 日程 | 2月19日(金) | 本学・他2会場 | 2月4日(木)～2月15日(月) 消印有効 | 2月23日(火) |
| 後期入試 | 3月14日(日) | 本学・他4会場 | 2月20日(土)～3月10日(水) 消印有効 | 3月17日(水) |
| センター利用入試(前期) | 個別学力試験は課さない | (出願のみ) | 1月5日(火)～1月27日(水) 消印有効 | 2月13日(土) |
| センター利用入試(後期) | 個別学力試験は課さない | (出願のみ) | 2月20日(土)～3月10日(水) 必着 | 3月17日(水) |

AO入試

| 試験種別 | 試験日 | 試験会場 | エントリーシート提出期間 | 合格発表 |
|------|----------|------|------------------|----------|
| Ⅲ 期 | 3月14日(日) | 本学 | 1月7日(木)～2月16日(火) | 3月17日(水) |

(詳細については、本学ホームページをご覧ください。 <http://www.heisei-u.ac.jp/nyushi/index.html>)

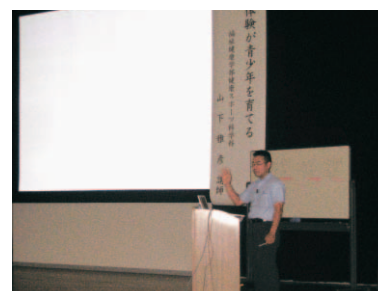


御幸五訓

- 一、真理を求め、道理の実践を志向する。
- 二、豊かな品性と魅力ある個性を伸ばす。
- 三、不屈の魂を養い、紐帯性を培う。
- 四、生命を尊重し、自然を畏敬する心情を育む。
- 五、誠実と倫を胸に刻み、夢の実現に挑む。

平成21年度公開講座 修了報告

今年も地域の方々を対象とした「公開講座」を9月10日(木)～10月15日(木)で全6回開催し、大勢の方に受講していただき無事修了することができました。今回は「交流」が教えてくれること」をテーマに、さまざまな場で「交流」の大切さを痛感させられるというキーワードにバラエティーにとんだ講演内容で実施しました。受講者も延べ1,052名となり、近年にない受講



者数となりました。また、最終講座終了後に閉講式が行われ村社公開講座委員長の挨拶の後、6講座中5講座以上受講された方に授与される「受講証」が118名に授与されました。

| 回 | 開催日 | 講座名 | 講師名 |
|---|-----------|---|-------------------|
| 1 | 9月10日(木) | 豊かな体験が青少年を育てる | 健康スポーツ科学科 山下 雅彦講師 |
| 2 | 9月17日(木) | おしこの自立 そらまめの自助 ～CKD(慢性腎臓病)は国民病～ | 看護学科 水内 恵子講師 |
| 3 | 9月24日(木) | 慈しみの心にこたえるマーケット ～消費者ニーズから消費者ハーツへの変化を求めて～ | 経営学科 田村 直樹准教授 |
| 4 | 10月1日(木) | テコとなる問題の見つけ方 ～自助力が向上する相談援助のコツ～ | 福祉学科 大中 章准教授 |
| 5 | 10月8日(木) | かけがえのない自然からの贈り物 ～アトリエの宝物～ | こども学科 安森 征治 教授 |
| 6 | 10月15日(木) | 高齢者の介護予防 ～心身の自立と健康～ | 看護学科 川井 八重 教授 |

miyuki letter

編集 福山平成大学広報委員会(学報作成部会)

発行 福山平成大学

発行日 2009年12月25日

ホームページ <http://www.heisei-u.ac.jp/> 福山平成大学 検索

福山平成大学

〒720-0001 広島県福山市御幸町上岩成正戸117-1
Tel.084-972-5001(代表) Fax.084-972-7771